

身障協会活動の活発化に向けて取組む

第四十七回目として紹介する協会は、檜山支庁管内の北部に位置し、平成十七年九月に町村合併（北檜山町・瀬棚町・大成町）が行われ、ウニやアワビといった豊富な海産物のほか、きさらやおぼろぎなどの良食味米生産農業も盛んに行われている第一次産業の町の、せたな町身体障害者福祉協会です。

同協会は、平成十七年に設立され、現在の会員数は四十八名おります。役員及び執行体制は内田会長を筆頭に、副会長二名、理事六名、監事二名の計十一名で構成されています。

主な年間行事及び活動内容

▼五月 役員会・総会

▼七月 檜山支庁地区身体障害者スポーツ大会

▼七月 老人及び障害者スポーツ大会

▼八月 活動旅行（年に一回、

一泊二日で会員相互の親睦交流等を目的に実施）

▼九月 檜山支庁地区身体障害者福祉協会会員研修会

▼一月 交流事業（年の初めに会員の親睦交流等を目的に実施）



合同実施したスポーツ大会の一場面



活動旅行で説明を聞いている様子

せたな町身体障害者福祉協会PR

同協会は、身体障害者が積極的に社会参加する機会を設け、地域において心身ともに健やかに過ごすことができるよう、相互に連携・協調することを目的として活動しており、老人クラブ連合会共催のスポーツ大会や会員の親睦と交流を深めるための活動旅行等を実施しています。また、行事活動のマンネリ

化にならないよう、漁火まつりへの参加等も計画しております。また、檜山支庁地区身体障害者福祉協会主催のスポーツ大会や研修会にも積極的に参加し、管内の会員との親睦を深めていきます。

その一方で、会員の高齢化により会員数がかつ数年減少傾向にあることから、会員増加に取り組んでいるところです。町内在住の障害者にもっとアピールし、身障協会の活動を活発化していきたいと考えています。